

信濃川発電所で発生した信濃川への油流出の原因と対策等について

11月8日に当社自営の発電所である信濃川発電所において発生しました信濃川への油流出につきまして、関係各所の皆さまにご迷惑とご心配をおかけしていることを改めて深くお詫び申し上げます。

このたび、油流出の原因を調査のうえ対策を取りまとめましたので、ご報告いたします。今後、本対策により再発防止を徹底するとともに、信濃川発電所の安全管理に万全を期してまいります。

1 概況

2023年11月8日（水）12時頃に、信濃川発電所（千手、小千谷、小千谷第二各発電所の総称）の千手発電所において、機械室が浸水し、同箇所にある集油槽より油が流出しました。オイルフェンスを設置し、油の拡散防止、回収作業を行いました。16時頃、信濃川へ油の流出を認めました。なお、集油槽より流出した油の量は約980ℓと推定され、その一部が信濃川へ流出しました。

【別図参照】

2 原因と対策等

(1) 原因

工事中である千手発電所水圧鉄管への水の浸入を防ぐために閉めるべき浅河原調整池のゲートを開けた状態のまま、浅河原調整池内の作業のために水を流したことで、水圧鉄管の開口部から機械室へ水が流入し、同箇所にある集油槽が浸水したため

(2) 対策

水の浸入を防ぐためのゲートは、確実に閉める計画にするとともに、作業開始前に、計画図をもとにゲートが閉まっていることを現地で確認することを徹底します。

(3) 拡散防止処置および情報提供

油設備の設置箇所に水の浸入を認めた時点で速やかに、取水及び発電の停止操作を行うとともに、関係する皆さまには河川への油流出を前提とした情報提供を行います。

3 その他

- ・発電再開及び流雪溝用水の供給に必要な箇所に残留していた油の清掃・除去作業を行い、水質検査により問題がないことを確認しております。その他の箇所の油の清掃・除去作業は引き続き進めてまいります。
- ・12月1日より千手発電所及び小千谷発電所の発電を再開いたします。また、12月2日より、順次、十日町市及び小千谷市の流雪溝用水を供給いたします。

— : 通水中
--- : 断水中

